



「秋」は学習習慣・学習方法を立て直す時期です！

高校1年生としての生活も半年が過ぎました。9月は西高祭などの学校行事で忙しく、あまり学習できなかったという人も多いのではないのでしょうか？1年生秋は、学習習慣が崩れやすい時期とされています。しかし、高校3年間を通して見てみると、この時期は非常に大切で、「1年秋にしっかり学習計画を立て実行できた人」は成績が上がり、センター試験で高得点をとる割合が高い！というデータがあります。中間考査も近づいてきました。もう一度自分の学習方法を振り返り、「予習→授業→復習」の黄金サイクルを見直してみましょう。

文理選択について ～文系か理系かの決定～

2学期には1年生の君たちにとって、とても大切な選択があります。それは、11月6日(金)に提出する科目登録です。(10月9日に一度、仮登録を実施します。)簡単に言うと、君たちが理系に進むのか、文系に進むのかを決定する登録です。**この選択は、君達の将来に関わる大切な選択です！** 適当に文系・理系を選んでしまうと、後悔することになります！！しっかりと考えて、選択をしましょう！ここで、文理選択のポイントを紹介します！

- Point 1** 自分の最も興味・関心のあることは何か！
- Point 2** 自分が深く勉強してみたいことは何か！
- Point 3** 自分が将来何になりたいか（就きたい職業は何か！）

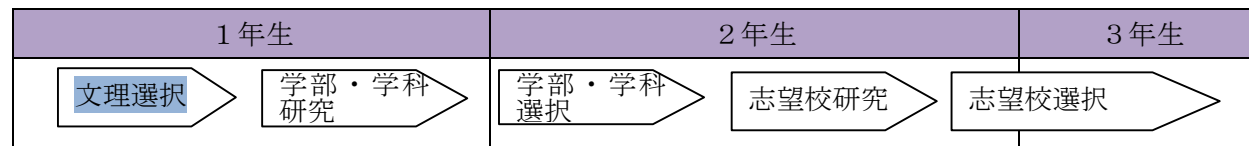
キーワードは「**自分**」です。「仲のいい友達が文系だから、私も文系にしよう！」「数学が苦手だから文系にしよう！」「国語ができないから理系にしよう！」という選択は**大間違いです！** **現在の得意不得意で選ばないこと！**あくまでも、**自分自身が何をしたいか、何になりたいかで選んでください！！** **自分の将来に大きく関わる選択**ですよ、他人に流されずに、**自分の意志で決めましょう。**

文理選択は、高校三年間の進路選択の第一歩です。まだ、迷っている人は、自分をもっとも勉強したいと思う教科や興味・関心のあることから考えてみましょう。納得した進路選択ができるように、十分研究し、家族や担任の先生に相談しながら考えていきましょう。

文理を選択したあとも、「文系にしたから数学はそれほど頑張らなくてもよくなった」とか「理系にしたから文系科目は勉強しなくてもいいか」というようなことは、**大きな間違いです！** 多くの人が希望している国公立大学合格のためには、センター試験で、文系でも数学が、理系でも英語が必須です！さらに、「数学もできる文系の人」「英語も得意な理系の人」が受験に有利なのは明らかですね。

大学見学（9月）に行った時の各大学学部学科の説明内容や印象も文理選択の参考にして下さい。さらに詳しいことを知りたい人は進路閲覧室に来て調べたり相談もできますよ。

<高校での進路選択の流れ>



<文系について>

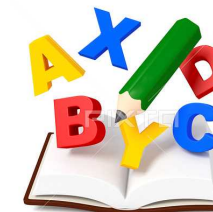
資料や情報を収集し、自分の言葉でまとめる力が要求されます。国内外の文献を読みこなす国語力・語学力だけでなく、専門分野の知識を深め、社会の動きに敏感になることが大切です。また経済学・心理学等では、統計を用いるため数学も必要です。他の学問でも、数学的な考えは理論立てて思考するために役立ちます。

<理系について>

問題に対して、仮説を立てて検証する力が要求されます。自然科学の事象を理解するための理学的な知識、実験データを正確に把握・分析するための数学力が求められます。また、論文やレポートを書く機会も多いので、そのための表現力や文献を読みこなすための国語力・英語力も求められます。

進路関係 今後の予定

- 10月2日(金) 進路講演会
- 10月3日(金) 駿台ハイレベル模試（希望者）
- 10月9日(金) 文理選択 仮登録締切
- 10月13～16日(火)～(金) 中間考査
- 10月31日(土) 進研模試（全員）
- 11月6日(金) 文理選択 本登録締切
- 11月12日(木) 校内実力テスト



pin.jpg - 2733127

10月2日(金)には進路講演会があります。

ベネッセの方に来ていただいて、「文理選択に関する講話」をしていただく予定です。全国で、高1の生徒がどのような文理選択をしているかという内容のお話をさせていただくことになっています。よく聞いて、自分の文理選択に活かすようにしてください！

教生の先生よりのメッセージ（続き）

前号で、教生の先生方から皆さんへのメッセージを掲載し紹介しました。今回はその続きとして、前回掲載できなかった先生方の、主に文理選択に関するメッセージを紹介します。

○川口晋吾先生（龍谷大学政策学部政策学科）

皆さんが文理選択をする際には、自分の夢の実現のためには今の段階でどちらを選択すべきだろうという考え方で選択して欲しいと思います。数学が嫌いだから文系を選択する、英語が苦手だから理系を選択する、こういう考え方ももちろんあります。しかし・・・(裏面へ続きます)

しかし文系を選択しても数学は勉強しなければいけないですし、理系を選択しても英語は勉強しなければいけません。今の得意不得意な科目だけで考えるのではなく、将来自分がしたいことや入りたいと思う大学のことを考えたり調べたりする中で、どちらが自分にとって最適なのかということ、きちんと踏まえた上で決めた方が後悔しなくて済むと思います。

今皆さんが過ごしている高校生という時間は一生で一度しかありません。卒業してから高校時代に戻りたいと思っても、戻ることはできません。今を精一杯楽しく、後悔のないようにして欲しいと思います。勉強や部活を頑張ることも大事です。しかしそれだけでなく、友人と仲を深めることや自分の趣味を深めたりすることも大事です。そうした全てを含めて後悔のないようにしてください。しんどいことや辛いこともあるとは思いますが、それ以上に一日一日を楽しんでください。

○青木光司先生

3週間ありがとう。これからの世代を築いていくのは皆です。

皆が、自分のやりたいことをできるよう願っています。

自分のやりたいことができているとき、きっと皆は輝いています。

○元山正昭先生（愛知淑徳大学 心理学部心理学科）

自分が高校 1 年生の頃を振り返ると、英語が本当に嫌いでまったく参考書を開こうとしませんでした。事実、3年生になってもその参考書はピカピカでした。（ダメな見本です）しかし、そうした本での勉強をほとんどしなかった私ですが、アメリカの映画やドラマが好きで、音声と字幕の両方を英語にして、いつも観ていました。英語の勉強というよりも、日本語の吹き替えを聞いてしまうとその映画の世界観が歪んでしまう気がして、英語でそのままの世界を感じ取りたいという気持ちでした。実際、英語の台詞とその日本語訳を見比べてみると、言い回しがまったく異なることがあります。そうした違いを感じとれるようになると、自分の中からふつふつと興味が湧いてくるのがわかりました。・・・(中略)・・・ わたしはこうして英語の勉強の入り口に立ちました。みなさんにも苦手だと感じる科目があると思いますが、教科書や参考書を開くことだけが勉強の助けになるわけではなく、自分自身が持つ興味が一番の力になることを忘れず、日々夢に向かって頑張ってください。期待してます。

〈メッセージ〉みんな！元気ですか！？ わたしは大学に戻って研究に追われる日々を送っています。実習中みんなと交わした言葉の一つひとつがわたしの宝物になっています。思い出だけで、明日への力が湧いてきます。みんなは高校生活に慣れて、自分なりの目標を見つけられた頃でしょうか。・・・しかし、目標がまだ見つからない人はなかなか頑張りがれないことがあるのではないのでしょうか。わたしも目標が定まらず、“もう一踏ん張り”がきかなかった記憶が多々あります。そして、毎日が同じように感じられて、ぼんやりと過ごすことが増え、張り合いの無い生活を送っていた時期がありました。もしも、自分がそうになっていると感じているなら、次のことを試してみてください。

世界を“変える”ことです。「そりゃまあそうだろ！でも無理じゃね？」とみんな思ったと思います。“変える”には一つのコツがあるのです。それは・・・“変わる”ことです。周りに変化を求めても残念ながらなかなか変わってくれません。変化が欲しければ、自分が“変わる”ことです。もちろん自分の性格や行動はすぐに“変わる”ものではありません。しかし、意識だけは違います。意識が変わるだけで、自分から見える世界も変わってきます。まずは、目の前のこと、目の前の人を大切にしてみてください。

それだけで自分の世界はきっと大きく変わっていきます。どんどん自分の世界を広げられます。生粋のシャイボーイであるわたしでも、今は多くの人たちと繋がっています。生きがい、張り合いのある毎日を過ごしています。それは“変わる”ことを恐れず、やってこれたからだと思っています。次にみんなと会う時には、お互いどんな世界が見えているのか楽しみですね。では、みんな頑張り過ぎへんように頑張ってください！！